



下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2012. 7. 9

下水道機構の『新技術情報』 第52号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>



先週は、上野動物園でパンダの赤ちゃん誕生の明るいニュースがありましたね。中国語でパンダは「熊貓」ですが、ではパンダは何語なのでしょう？調べてみると「パンダ」はネパール語で「竹」を意味する「ポンヤ」に由来するそうです。笹を頬張るパンダ親子の公開が待ち遠しいですね♪

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第52号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

■□■□トピックス□■□■

★インフォメーション

- ・6月29日（金）に、平成24年度第1回審査証明委員会が開催されました
- ・技術マニュアル活用講習会7月20日（金）【東京会場】、7月27日（金）【神戸会場】を開催します！

★機構の動き

- ・今週は、7月10日（火）に汚泥処理技術共同研究委員会、水処理技術実用化評価委員会が7月12日(木)に技術サロン、7月13日(金)に管路技術共同研究委員会が開催されます

★Tea Break

- ・梅雨の間の水辺散歩（H2-O さんからの投稿です）

★【新コーナー♪】まる子のゆいまーる

- ・江戸から未来への航跡（ペンネーム 鷹の爪さんから投稿いただきました！）

★国からの情報

- ・7月5日 付け下水道ホットインフォメーション

-----  
インフォメーション （最新の話です）  
-----

●6月29日（金）に、平成24年度第1回審査証明委員会が開催されました。

楠田哲也委員長を筆頭に学識経験者、国、地方公共団体等の有識者により構成される審査証明委員会に対し、新規技術6件、変更技術13件、更新技術15件、平成23年度からの継続技術5件の計39件が理事長から諮問され、それぞれの技術に対し熱い審議が展開され、技術内容の確認や今後の審査方針等が決定されました。今年度の審査対象技術は、新規は設備系技術が、変更・更新は更生・修繕技術が多くなっています。

今後、技術分野別の部門別委員会において、各技術について現地確認試験を通して開発目標の確認等、厳正な審査が行われていく予定となっています。

なお、併せて継続技術2件の報告書案について最終審議が行われた結果、委員長から答申を受けました。当該技術は近々下水道機構から審査証明書が交付されることとなります。

●技術マニュアル活用講習会 7月20日（金）【東京会場】、7月27日（金）【神戸会場】を開催します！

当機構が民間と共同研究し、とりまとめた新技術に関するマニュアルや資料を詳しく解説する『技術マニュアル活用講習会』を、7月20日（金）13：20～16：40に東京会場（当機構会議室（江戸川橋））、翌27日（金）同時刻に神戸会場（神戸国際展示場（下水道展の併催行事））で開催します。今年度は、管理の効率化等を図る次の5つの新技術について、担当技術者がパワーポイント等を使って、内容を詳しく、分かりやすく解説します。

- (1) セラミック平膜を用いた循環式硝化脱窒型膜分離活性汚泥法技術資料
- (2) 下水道用マンホールふたの計画的な維持管理と改築に関する技術マニュアル
- (3) 衝撃弾性波検査法による管路診断技術資料
- (4) 監視システムのリスク等低減への活用に関する技術資料
- (5) 汚泥焼却炉からのN<sub>2</sub>O削減に関する技術資料

当講習会は、土木学会の継続教育（CPD）プログラムにも認定されています。東京、神戸の両会場とも、まだ席に余裕がありますので、ぜひこの機会にご参加いただき、業務等にご活用ください。なお、公共団体の方は無料です。

※講習会の内容、申し込みはこちら → <http://www.jiwet.jp/school/school-05-07.htm>

---

機構の動き （機構の行事予定です）

---

●7月10日（火）14：30～17：00

第1回 汚泥処理技術共同研究委員会  
場所：下水道機構8階 特別会議室

●7月10日（火）15：00～17：00

第1回 水処理技術実用化評価委員会 場所：下水道機構8階 中会議室

●7月12日（木）17：00～18：00

第306回 技術サロン 場所：下水道機構8階 中会議室

テーマ 「川崎市における平成24年度下水道事業の展開」

ゲスト 川崎市上下水道局下水道部下水道計画課長 松川 一貴 氏

参加お申し込みはこちら

→ <http://www.jiwet.jp/school/school-07-306.htm>

●7月13日（金）11：30～16：00

第1回 管路技術共同研究委員会  
場所：（株）福田組 牡丹山研修センター（新潟市東区）

●7月19日（木）13:00～17:00

第2回 横須賀市下水処理場等の津波対策基本計画に関する検討委員会

場所：横須賀市西浄化センター

●7月19日（木）15：30～17：00

第1回 新技術設計手法等共同研究委員会

場所：下水道機構8階 中会議室

●7月20日（金） 13時20分～16時40分

技術マニュアル活用講習会【東京会場】場所：下水道機構8階 中会議室

7月27日（金） 13時20分～16時40分

技術マニュアル活用講習会【神戸会場】

場所：神戸国際展示場2号館2階2B会議室（下水道展の併催行事）

内容：平成23年度作成の技術マニュアル・技術資料（全5件）の説明

※技術マニュアル講習会【東京会場・神戸会場】のお申し込みはこちら

→ <http://www.jiwet.jp/school/school-05-07.htm>

●7月24日（火）～27日（金）

下水道展への出展及び研究発表会での成果発表

場所：神戸国際展示場2号館（P-7）等

---

Tea Break （機構職員の感じるまま）

---

●梅雨の間の水辺散歩（H2-O さんからの投稿です）

今は梅雨の真最中、蒸し暑い日が続いています。今年の梅雨は陽性で、前半に台風4号の襲来もあって、降らないときはすっきり晴れる一方で雨が降ると各地で豪雨となっています。停滞する梅雨前線の影響で九州地方は連日記録的な大雨が降って、被害も発生しているとの報道に心配しています。梅雨明けまでのしばらくの間、他の地方でも災害に対する警戒が必要です。

さて、目立ってきた腹回りを減らそうと、出勤前の早朝に近くの川沿いの道を周囲の自然と触れ合いながら、何となくウォーキングを続けています。この時期はハナショウブがそろそろ盛りを過ぎ、梅雨の花アジサイが見頃を迎えています。ガクアジサイやセイヨウアジサイが白、水色、薄紫、赤紫、濃紫と様々な色や形で咲き競っています。花の色は土壌や肥料により、また日が経つことによっても変化するようです。ともかく色鮮やかで朝早い寝ぼけ眼には爽やかに映ります。「チー」という鳴き声に川面を見ると、輝く青い羽を見せながらカワセミが2羽、水面ギリギリを直線的に速く飛んでいくところでした。縄張り意識の強いカワセミが巣立ちしたヒナを追い払っているようです。下水道整備が進んだことにより、最近では都会の水辺も自然豊かになってきています。

ところで、梅雨明けとともに暑い夏を迎えますが、私の早朝ウォーキングもいつまで続くのでしょうか。

---

まる子のゆいまーる（皆様との交流の場です♪）

---



=====

○最近の国際活動について【下水道企画課】

(1) I S O T M B 水のタスクフォース設置

6月13、14日、ジュネーブで開催された第54回TMB (Technical Management Board) においてTMB水のタスクフォースの設置を決定。Council水のタスクフォースの提案の実行や、水に関連する課題に係わる様々な委員会の現状のレビュー、水分野における今後の規格化への提案、神戸におけるISO水の国際ワークショップのアウトプットの検討を実施するもので、下水道協会の植松技術研究部長が共同議長に就任予定です。

(2)国際メタン会議 (7月2日～3日：シンガポール)

メタンの回収及びエネルギーとしての有効利用を、先進国、途上国、市場経済移行国が協力しながら、民間企業の参加も得て推進するための官民協力パートナーシップ。下水道部では、今年度新たに設置された都市下水分科会に参加し、我が国の下水道における温室効果ガス削減対策としての下水汚泥 (特にバイオガス) の有効利用について発表し、日本の先進的な取組に大きな関心が集まりました。

(3)シンガポール国際水週間・水エキスポ (7月2日～4日：シンガポール)

水処理に係る政策立案者、指導者、専門家、事業者等が一堂に会する世界的な情報交換の場。水エキスポはその一環として開催され、毎回多くの国・地域からの出展・来場実績があります。GCUSが出展した他、ジェトロが組織したジャパン・パビリオンがあり、日本が誇る水処理技術の紹介などが行われました。

(4)横浜水ビジネス協議会による海外展開【横浜市記者発表資料より】

シンガポール公益事業庁、(株)明電舎及び横浜市の3者は覚書を締結し、下水汚泥処理で発生する分離液のエネルギー消費を抑えた処理法について、実証プラントを用いて共同研究を進めます。調印式を7月2日、上記のシンガポール国際水週間会場内で実施しました。横浜水ビジネス協議会の会員と横浜市による、海外ビジネス展開の初めての取り組みです。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/kisha/h24/120628-1.html>

(5)中国大連市都市建設管理局副所長による下水道部長表敬訪問

北九州市主催による下水道研修として、日本の技術や実例の紹介などを通じ、北九州市、大連市両市の技術者が下水道事情の相互理解を深め、視野を広げて実務能力の向上を図るものです。その一環として、下水道部長へ表敬訪問され、意見交換しました。その後、WES Hubのハブ都市も訪問しています。

★図書のご案内☆

■丹保憲仁先生著『都市・地域 水代謝システムの歴史と技術』(鹿島出版会)の発刊について【下水道企画課】

上下水道界の第一人者、丹保憲仁・北海道立総合研究機構理事長が、長い研究生活の総括として、これまでの上下水道システムの歩みに改めて鋭いメスをいれつつ、地球温暖化と人口増を迎える地球上において、いかなる上下水道システムが求められていくのかを、具体的なデータを用いて提案しています。今後の上下水道界の関係者にとって、必読の書が発刊されました。

■「下水道事業の手引 平成 24 年版」が完成しました【下水道事業課】

- (1)制度変更を詳細に解説、内容もさらに充実！！
- (2)地域自主戦略交付金が指定都市にも拡充
- (3)東日本大震災復興交付金を創設

昨年度に社会資本整備総合交付金から一部事業が移行した内閣府所管の「地域自主戦略交付金」は、今年度から都道府県分の対象事業が拡大され、新たに指定都市にも導入されました。

今回発刊する平成 24 年版では、このような制度変更や震災からの復興を後押しするため創設された「東日本大震災復興交付金」について詳細に解説されています。さらに、下水道関係者が事業を行ううえで知っておくべき事柄についても平成 23 年版の発刊以降に出された通知等も加えて刷新しています。

[http://www.suido-gesuido.co.jp/blog/info/2012/06/post\\_43.html](http://www.suido-gesuido.co.jp/blog/info/2012/06/post_43.html)

■書籍『水ビジネスを制するための標準化戦略』を発行しました【日本規格協会】

今後の日本の成長の鍵を握るといわれる世界の水市場。日本でも、産業界だけでなく、既に多くの地方公共団体がチャレンジしています。

日本規格協会では、注目の巨大マーケット"水ビジネス"について、標準化戦略の視点から書かれた画期的な書籍を発行しました。20 名以上の官学民の現役の水エキスパート陣により丁寧に解説されています。

水ビジネスについて、世界の水メジャーの動きや国内水道事業者への影響、地方公共団体が進める海外展開、世界の ODA の現状から、日本の水道事業における PPP（官民連携）までが解説されています。

標準化について、基礎的な知識の紹介はもちろん、水事業に関するマネジメントシステム規格、アセットマネジメント、クライシスマネジメント、MBR（膜分離活性汚泥法）等の規格の解説のほか、各規格制定過程における各国の思惑や議論等も紹介されています。

そして、標準化戦略について、標準化のビジネス効果、メリット・デメリットをはじめ、欧米の標準化戦略の紹介とその比較、厚生労働省、国土交通省などにより日本の国際標準化戦略などが解説されています。

水に関係したビジネスでの海外展開を考えていらっしゃる方はもちろん、インフラビジネス全般に関心のある方、他分野の標準化戦略に関心のある方にも参考となる一書です。

- ・書名：『水ビジネスを制するための標準化戦略』
- ・監修・編集委員長：滝沢智（東京大学大学院工学系研究科 都市工学専攻 教授）
- ・発行所：日本規格協会

目次等の詳細は以下をご覧ください。

[http://www.webstore.jsa.or.jp/lib/lib.asp?fn=/standard/std12\\_06.htm](http://www.webstore.jsa.or.jp/lib/lib.asp?fn=/standard/std12_06.htm)

=====

【参考情報】

- ◆和歌山市浸水被害 68 棟増え 299 棟 <6/30 MSN 産経ニュース>

<http://sankei.jp.msn.com/region/news/120630/wky12063002060004-n1.htm>

◆福島第1原発事故 柳津・西会津2町と会社、下水汚泥処理再開へ 公害防止協定締結で / 福島 <6/30 毎日新聞>

[http://mytown.asahi.com/niigata/news.php?k\\_id=16000001206260002](http://mytown.asahi.com/niigata/news.php?k_id=16000001206260002)

◆県内豪雨で大規模被害 大分 <7/3 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/oita/news/20120702-OYT8T01347.htm>

◆旭化成ケミカルズ、水処理用中空糸ろ過膜を韓国の大型下水MBR処理施設に提供 <7/3 日経新聞>

<http://release.nikkei.co.jp/detail.cfm?relID=313549&lindID=4>

◆京都市、下水処理場にメガソーラー <7/3 日経新聞>

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASJB0202L\\_S2A700C1LDA000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASJB0202L_S2A700C1LDA000/)

◆田川市:下水道30年で整備、供用2万人に 事業計画を報告 / 福岡 <7/4 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/fukuoka/news/20120704ddlk40010450000c.html>

◆神戸市、官民連携で3000世帯分のエネルギーを賄うバイオマス活用プロジェクトを始動 <7/4 環境ビジネス>

<http://www.kankyo-business.jp/news/002715.php>

◆大沼の自然、次世代に・・・ラムサール条約登録 <7/4 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/hokkaido/news/20120704-OYT8T00036.htm>

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～



発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○ニューズレターはこちらから → <http://www.jiwet.jp/newsletter/20120229/>

○コラムの正解はこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20120229/seikai2.pdf>

